

離島・SS過疎地における石油製品の流通合理化支援事業費

平成30年度予算額 **47.6億円 (53.8億円)**

事業の内容

事業目的・概要

- 離島における石油製品の安定的かつ安価な供給を確保するため、本土からの輸送費等の追加的なガソリンの流通コスト相当分の補助や石油製品の安定供給体制等を構築する取組に対する支援をします。また、SS過疎地(※)において、消費者にとってのSSへのアクセスの利便性を維持するために、SSの生産性向上・経営革新や地域の総合生活サービス拠点への転換による経営基盤強化及び環境・安全対策を支援します。

(※)SS過疎地：市町村内のSS数が3ヶ所以下の地域

(1) SS過疎地対策検討支援事業

SS過疎地の自治体等が住民の利便性維持のための燃料供給体制に係る計画を策定する取組を支援する。また、過疎地等において、地域の実情に応じた燃料供給システムの構築に係る実証事業や、SS従業員の人材育成・マッチングを支援します。

(2) 環境・安全対策等を行う中小SS等への支援

- ① 地下タンクからの危険物漏えい防止のための補強工事や漏えい点検検査、
- ② 地下タンク等の撤去、SSの統合・集約・移転等を支援します。

(3) 離島ガソリン流通コスト対策支援事業費

輸送形態と本土からの距離に応じて補助単価を設定し、ガソリン価格が実質的に(流通コスト相当分)下がるよう支援します。

(4) 離島への石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業費

地域ごとに関係者(自治体、事業者(元売・地元販売店)、需要家など)による検討の場を設け、石油製品の流通合理化策や安定供給体制を構築する取組を支援します。

成果目標

- 本事業を通じて、SS過疎地の燃料供給体制に係る計画を策定した自治体の割合向上及び離島のガソリン小売価格の実質的な引き下げ、離島における石油製品の流通合理化と安定供給の対策の策定を目指します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

(1) SS過疎地対策検討支援事業

SS過疎対策検討・調査、実証事業等

【実証例】



連携
運送事業者と連携した灯油の配達による
配送コストの削減

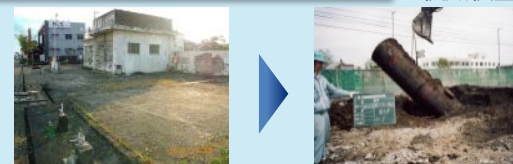
(2) 環境・安全対策等を行う中小SS等への支援

① 漏えい防止対策、土壌汚染の早期発見

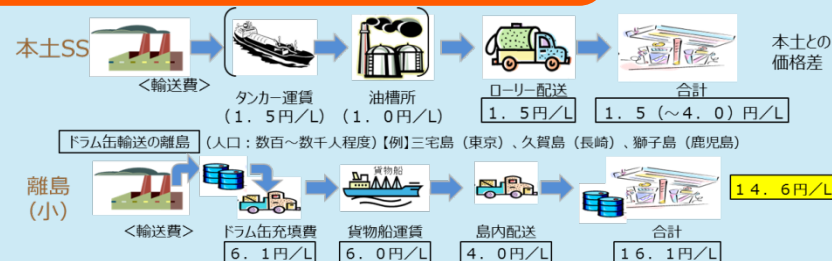
- ・内面ライニング施工
- ・電気防食システム設置
- ・精密油面計設置

② タンク放置防止、SSの統合・集約・移転

- ・危険物の漏れの点検に係る
検知検査等



(3) 離島のガソリンの流通形態のイメージ



(4) 離島の石油製品の流通合理化策・安定供給体制の検討

- 島内油槽所や給油所の石油製品備蓄増強による安定供給体制の確立
- 石油製品の海上輸送・調達方法の見直しによる流通合理化 等